

# 第3期行政改革 の取り組み

■問い合わせ／総務課庶務係（2階⑩番窓口☎ 485-2111 内線 211）

実施計画内容	実施年度	実施状況、効果など	効果（単位:千円）	
<b>1 事務事業の改革</b>				
事務事業の簡素化・効率化と課題解決	H22・H23	自動車・暖房用燃料の契約単価の見直し （大口事業所として、一般小売価格より約3円減で契約）	7,846	縮減
	H22・H23	用紙等のリサイクル徹底 （庁舎内コピー用紙使用量節減）	706	縮減
	H23	標茶町例規集の廃止	478	縮減
	H22・H23	下水処理場委託費の抑制	800	縮減
	H22・H23	下水道工事と道路改良工事と連携発注	115,938	縮減
事務事業の任務分担の推進	H23	町営バス等運行業務の民間委託（虹別線の委託化）	2,772	縮減
	H22・H23	道路維持補修作業の民間との業務分担の推進	5,740	縮減
補助金・負担金の見直し	H22・H23	標茶町各種団体等運営および事業補助金交付規則の見直し 1.事業費の2分の1以下を原則とする 2.多額の繰越金を考慮し減額 3.食料費及び旅費が多額な場合の精査	54,365	縮減
IT化の推進	H22・H23	庁舎内LANの施設およびパソコン導入の充実 （TS環境構築し、端末更新費用抑制）	7,800	縮減
GISの推進	H22・H23	GISの推進 （日常業務の作業時間の短縮により、人件費削減効果）	3,000	縮減

## 放射能物質検査機器が 設置されています。

東日本大震災時の原発事故による食の安心・安全が心配されています。本町では、独立行政法人国民生活センターから放射性物質検査機器を平成25年3月まで借りています。食品などを町内で検査できますので、依頼する場合は、左記に問い合わせください。

### ■注意事項

- ・事前に検査したい物（以下、試料）の種類、量、測定希望日などについて連絡してください。
  - ・試料の体積は1リットル以上必要です。（1リットル未満では検査結果が不安定な数値となります。）
  - ・試料が固体の場合、フードプロセッサなどで、細かくするため、固体のままお返しできません。
  - ・検査には数時間かかるため、試料を預かり、後日検査結果をお知らせします。
- 問い合わせ／役場企画財政課商工労働係（2階⑩番窓口☎ 485-2111 内線 251）

本町は、平成23年3月に策定した「標茶町第3期行政改革実施計画」に基づき行政改革を進めてきました。

第3期行政改革の平成22・23年度間の効果は、6,528万円の歳入増と2億3,434万円の節減効果がありました。

経費、人件費の抑制・削減はもちろん、行政と皆さんとの任務分担の見直しや各種補助金の見直しなど広範囲で実施していますので、ご理解とご協力をお願いします。

行政改革の取り組みについてのご意見などがございましたら、右記係までお寄せください。

実施計画内容	実施年度	実施状況、効果など	効果（単位：千円）	
<b>2 組織・機構の改革</b>				
効率的な機構の構築	H22・H23	久著呂へき地保育所を休所した	3,674	縮減
組織のスリム化	H22・H23	業務量に応じた適正な人員配置	16,800	縮減
<b>3 健全な財政運営の推進</b>				
長期展望に基づく効率的な財政運営	H23	下水道事業特別会計の経営健全化	11,152	縮減
自主財源の確保	H22・H23	税外諸収入金収納対策委員会の開催・差押財産の現地およびネット公売の実施	3,345	歳入増
	H22・H23	町有地の売り払い（遊休町有地の売り払いを実施）および間伐材の売却	59,049	歳入増
	H22・H23	へき地保育所保育料の適正な設定（常設保育園に合わせて、改定を実施）	318	歳入増
	H22・H23	職員住宅使用料の見直し	1,516	歳入増
公有財産の有効活用	H22・H23	町有車両の効率的な管理	452	縮減
<b>4 地域資源の有効活用</b>				
	H22・H23	ごみ減量化に伴うリサイクル資源の売り払い	1,012	歳入増
	H22・H23	防犯灯のエコ電灯普及への推進	2,565	縮減
	H22	町有施設への太陽光パネル等の設置の推進	40	歳入増
	H22・H23	町有車両のエコカー購入	252	縮減
計			299,620	

あなたらしさを大切に  
小規模デイサービス

**ひだまり**

標茶町平和3丁目46 ☎485-5111

**注意** 野生鳥獣に餌を与えないで

人が餌を与えると、野生の鳥や動物は、自分で餌を捕らなくなり、場合によっては人を攻撃してくることがあります。また、病原菌を持っている可能性もあり、衛生的にも良くありません。「かわいい」と思っても、カラスやキツネなどの野生鳥獣にエサを与えないようにしましょう。

